

齋藤さん(豊高)日銀総裁賞

地元・阿見の課題考察

金融と経済小論文

第21回金融と経済を考える高校生小論文コンクールで、豊高浦高1年の齋藤彩葉さん(16)が特選の日本銀行総裁賞に輝いた。齋藤さんは自分の考えや思いが評価され、うれしい。自信につながったと話した。

論文のタイトルは「自分の足元から考える環境と経済の両立」。自分の住む阿見町で耕作放棄地の増加や、少子高齢化による地域の担い手不足といった課題を洗い出し、地元の自治会費の使い道を調べた体験を基に意見をまとめた。「自分の考えを経済や金融と結びつけるのが難しかった」と振り返る。審査員からは「自分の経験と地域の状況を踏まえた考察」などと講評された。

同コンクールは金融広報中央委員会が主催し、社会問題を金融や経済でどのように解決するか考え、学びを深めることが目的。全国から1587点の応募があり、入賞20点の中から齋藤さんを含む5点が特選に選ばれた。

同校で9日、賞状の授与

日本銀行総裁賞に輝いた齋藤彩葉さん(中央)と下田陽一郎校長(右)。(豊高浦高)



式があり、日本銀行情報サービス局長の小牧義弘氏や、日本銀行水戸事務所長の上野淳氏、千葉繁阿見町長らが出席。小牧氏から齋藤さんに賞状と副賞が手渡された。

小牧氏は「身近な所から問題意識を持ち、解決策を提言していた。中身も展開も小論文として完成度が高かったとたたえた。齋藤さんは「将来は自然と人間が共生するまちづくりに携わりたい」と話した。特選に選ばれた生徒が在籍する学校として、同校に「学校賞」が贈られた。(松原美実)



「舞男」を33年間務めた谷本仁さん(前列左から2人目)＝龍ヶ崎市役所

「舞男」舞男33年務め引退 谷本さんに感謝状

龍ヶ崎市の舞男を33年間務め、昨年を最後に引退した牛久市小坂町、谷本仁さん(55)に15日、市から感謝状が贈られた。

舞男は舞男と呼ばれる演じ手が唐草模様の衣装にアマガエルのかぶり物を着け、高さ14の柱に登り曲芸的な所作を演じる芸能。谷本さんは「いつも無我夢中でやってきた。今までけがなく無事にできたのは皆さんのおかげ。これからもできる限り、龍ヶ崎の伝統である舞男に協力していきたい」と話した。(黒羽根勝弘)

土浦市、DX推進課新設

来年度 AI活用やシステム管理

土浦市は2024年度の機構改編でDX推進課を新設する。また、花火のまち推進室 スマートIC整備推進室を設置する。

市庁舎デジタル推進課によると、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進めるため、同課をDX推進課と行政経営課に分割する。DX課にはデジタル推進係と情報管理係を置き、生成人工知能(AI)などDXの活用やシステムの維持管理に当たる。

花火のまち推進室は、日本三大花火大会といわれる土浦全国花火競技大会が25年に創設100年を迎えるのを前に、商工観光課内の花火対策室を変更。発信

を強化する。スマートIC整備推進室は都市計画課内に新設。国

出産祝い金支給増額

常総市 一般会計は24億円

24年度予算案

常総市は27日、2024年度当初予算案を発表した。一般会計は前年度比3%減の23.4億円となった。子育て支援事業に新たな出産祝い金や、防災事業として避難行動要支援者の避難支援ウェアアプリの開発などを盛り込んだ。出産祝い金事業には1億

97万円を計上。現行の同事業を全面的に見直し、支給額を増額した。第1子誕生時には3万円、第2子は5万円、第3子以降は10万円を支給する。子育て世帯の経済的負担を軽減し、転入者増につなげる狙い。避難行動支援ウェアアプリの開発には900万円を計上した。アプリでは高齢者や障害者などの個別避難計画の作成ができるほか、

に対応するため、消防総務課に新消防署整備室を置く。市教委図書館の奉仕係は、利用者に分かりやすくするため「利用者サービス係」に名称変更する。機構改編は4月1日の予定。(黒崎哲夫)

土木工事現場見学 高所作業車試乗も

石岡・小桜小

石岡市立小桜小の3年生17人が7日、市内の土木工事現場を見学した。建設の仕事に関心を持ってもらおうと、同校近くの小桜建設(同市半田、関隆行社長)が毎年開催している。



児童らは最初に国道355号のJR常磐線陸橋で4車線化工事を見学。祖父の家に行く際に橋を渡るといっ前島一朗君(9)は「どうやって造っているのかわかって良かった」と話した。続いて国道6号恋瀬橋近くの恋瀬川に移動。洪水対策で河川敷を掘る意義の説明を受け、作業で使われる重機を間近で見ると大きさを美感した。最後は高所作業車に乗り込んで全体を見渡した。坂本泰生君(9)は「同じ重機でも大きさに違いがあると分かった」と話した。

恋瀬川河川敷の掘削工事の説明を受ける児童ら。石岡市石岡

南 県 土浦・つくば支社 TEL 029(822)4567 FAX (823)6488 土浦市 つくば市 牛久市 かつすみがうら市 稲敷市 阿見町 美浦村 常総支局 TEL 0297(38)7155 FAX (22)5051 常総市 つくばみらい市 取手・龍ヶ崎支局 TEL 0297(72)1139 FAX (74)2700 取手市 守谷市 龍ヶ崎市

能登 小美子 有 能登 人たちが 地区や ペー 日本赤土 金5万円 だ。市社 警さんが 同市役所 市長に寄 団体は 洋クラフ 周辺に在 年々ヤリ 教育 種教育 の27日、 氏(61)を 全会一致 は4月1 市 【取手 開会し、 2024 算案など 土浦 見学 テナ 石岡 八郷 3月4 八郷総公 取手 ◆藤代 ニックナ

茨城新聞

2月28日 水曜日 茨城新聞社 〒310-8686 水戸市笠原町978-25 電話(029)239-3001(代) http://ibareknews.jp 編集局 電話(029)239-3020 FAX(029)301-0362 印刷所 茨城新聞印刷所 電話(029)239-2118 (平日午前9時~午後5時)

お建て替えなら!

ゼマイバル®

お問い合わせ ☎0120(013)816

ぎよつの ニュース

薬剤師、病院で不足

地域や薬局に偏り、確保支援

暮らしと 暮らしと 24 県予算

◎5◎

薬剤師が安全キャビネットと呼ばれる箱の中で手を伸ばし、抗がん剤を調製する。病院薬剤師の繊細な作業を説明する。

病院に勤務する薬剤師はこうした仕事だけでなく、薬をそろえる調剤、患者への服薬指導、副作用情報の提供、医師への処方提案など多くの役割を担う。

センターでは病院薬剤師が不足している。現在は非

常勤の薬剤師も確保できていない。資格が必要としない業務を他のスタッフに頼むなどやりくりしながら、「何とかしている状態」(関口部長)。

「病院薬剤師の不足は深刻。業態や地域での偏りが続いている」

センターの鈴木祥司院長は同病院だけでなく、県内や国内全体の課題と指摘。人材が薬局に偏る傾向があると話す。

厚生労働省の統計によると、県内の病院薬剤師の数は2020年末現在、人口10万人当たり36.1人で全国40位と低迷する。

県内9区域に分かれる2次保健医療圏では22年度全エリアで目標偏在指標1.0を下回った。「筑西・下妻」は0.46、「鹿行」0.52、「常陸太田・ひたちなか」0.54、「土浦」0.55。「つくば」取手・竜ヶ崎を除く7エリアが少数区域とされる。

一方で、薬局に勤務する薬剤師は比較的充足する。偏在指標は「つくば」水

戸「古河・坂東」の3区域で1.0を上回り、県全体でも0.99と目標指標に近い。

給与や勤務形態などが偏在の要因となっている可能性が指摘される。鈴木院長は「初任給で見たらドラッグストアの方が上回る」と話し、病院での人材確保の難しさを示す。

病院薬剤師の安定的な人材確保に向け、県は新年度以降、奨学金返済支援や免除ありの修学資金貸与に取り組む。病院薬剤師の少数

区域で一定期間、勤務することなどが条件。

奨学金返済支援事業の人数は年10人で、大学既卒の薬局薬剤師や薬学部の5、6年生が対象。最長6年間で、月上限2万5千円を支援する。

就学資金の貸与は、県議会に条例案を提出し、25年度開始を見込む。人数は年2人で、県内の高校などが対象。6年間、月額で国公立5万円、私立10万円を貸与する。少数区域の病院勤務など条件を満たせば、返済が免除される。

県業務課の担当者は「新事業により、必要な人材を

確保したい。そのためにはまず病院薬剤師が少ない現状を知ってもらう必要がある



安全キャビネット内で抗がん剤を調製する薬剤師=霞ヶ浦医療センター

政倫審 きよつの開催 与野党、公開



与野党は27日、自民党関係の政治資金パーティー真金事件を受けた衆院政治倫理審査会の開催に向けて協議した。公開の在り方を巡り対立し、先週大筋合意していた28日の開催を見送った。野党は政倫審に出席する安倍派、二階派の5人のうち、全面公開に応じる議

衆院政治倫理審査会の幹事会が行われる予定だった部屋の前には、「会議を聞くに至らない」と書かれた看板が掲げられていた。27日午後、国会

出生数、23年最少75万人

速報値 人口減り幅最大83万人

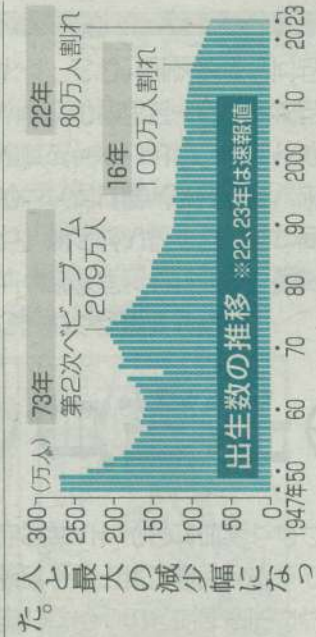
厚生労働省が27日に発表した人口動態統計の速報値(外国人らを含む)によると、過去最少の75万8631人

人口動態統計 厚生労働省が、戸籍法などに基づき市区町村に届けがあった出生、死亡、婚姻、離婚といった数をまとめた統計。国の重要な「基礎統計」の一つで政策立案の基礎資料となる。例年2月ごろ、前年1年間分の外国人らを含む速報値を公表。6月ごろに日本人のみ対象の「概数」を発表する。概数では、女性1人が生涯に産む子どもの推定人数を示す合計特殊出生率も算出する。

と、2023年に生まれた赤ちゃんの数(出生数)は過去最少の75万8631人

だった。初めて80万人を割った22年から5.1%減り、少子化が一段と進んだ。今後発表する日本人だけの出生数は70万人台前半への落ち込みが確実な情勢だ。婚姻数も90年ぶりに50万組を割った。死亡数は過去最多の159万503人となり、出生数を引いた人口の自然減は83万1872

だった。初めて80万人を割った22年から5.1%減り、少子化が一段と進んだ。今後発表する日本人だけの出生数は70万人台前半への落ち込みが確実な情勢だ。婚姻数も90年ぶりに50万組を割った。死亡数は過去最多の159万503人となり、出生数を引いた人口の自然減は83万1872



(3面に関連記事)

未婚・晩婚化の傾向に加え、新型コロナウイルス禍

の影響を受け、少子化は政府想定より12年早いペースで進む。地域や社会経済活動の維持が課題となる。政府は30年までを反転のラストチャンスとして「次元の異なる少子化対策」を掲げ、児童手当拡充などの関連法案を国会で成立させる方針だが、効果は見通せない。

出生数は第2次ベビーブームのピークだった1973年(約209万人)以降、減少傾向に入り、2016年に100万人を割った。22年の速報値は79万9728人で初めて80万人を下回り、23年はさらに4万10

97人減った。減少は8年連続。

厚労省の国立社会保障・人口問題研究所は将来推計人口で、76万人を割るのは35年と見込んでいたが、実

県内最少15

本県で2023年に生まれた赤ちゃんの数(出生数)は前年比949人減の1万5595人で、過去最少だったことが27日、厚生労働省の人口動態統計の速報値(外国人らを含む)で分かった。

出生数は前年の1万6544人から5.7%減少。